

キャリアマネジメント(くらし)分野 学習指導案

指導者 T1 西 勉 T2 藤井 朋子
T3 小田原 舞 T4 檜和田 祐介

日 時 平成 26 年 1 1 月 2 2 日 (土) 5 校時 13:40～14:30

年 組 東雲中学校 全学年 3 組 18 名
(1 学年 男子 5 名 女子 1 名, 2 学年 男子 5 名 女子 1 名 3 学年 男子 4 名 女子 2 名)

場 所 中学校マルチルーム・1 年 3 組・2 年 3 組・3 年 3 組各教室

単 元 「説明会をしよう」

単元設定の理由

本学級は、中・軽度の知的障害特別支援学級である。比較的規模の大きな学級集団であることを生かし、将来の社会的自立をめざし、生徒相互のかかわりを大切にしながら生活力を高める指導・支援を行っている。毎年 4 月に行っている個別の指導計画作成のためのアンケート(図 1)をみると、現段階での課題は生徒個々により異なっているが、コミュニケーションに関連するものが多くみられた。具体的には、文章表現や考えや気持ちの伝え方、一方的でないやりとりなどが挙げられた。

9 月に本学級生徒を対象に行ったキャリア教育の基礎的・汎用的能力に関わるアンケート(図 2)では、自己理解・自己管理能力に関する項目では肯定的な回答が多くみられるが、課題対応能力やキャリアプランニング能力に関する項目では「調べて分かったことをわかりやすく人に伝えるために、まとめ方を工夫している」や「なぜ勉強するのか考えて勉強している」などで、否定的な回答も多くみられ、自信のなさがかげえる結果となっている。卒業後の進路については、ここ数年、生徒・保護者共に、実態に応じ、何らかの形で就労を含む社会参加を考えており、大きな変化はない。しかし、生徒に社会参加や働くことの目的等について尋ねると、あいまいで、漠然としている様子があるものの、上級生では進路決定も近づくことから、具体的な姿をイメージできるようになりつつある。これらの実態から、生徒一人ひとりの将来の自立した生活に必要な様々な知識・技能・態度等を身に付けていく指導や支援を系統的に行っていく必要があると考える。

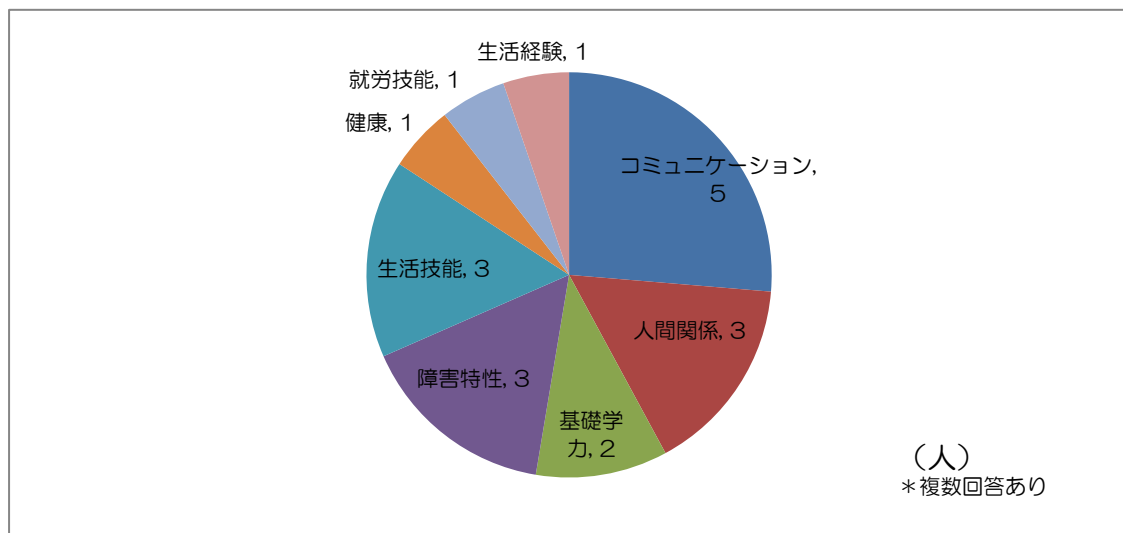


図 1 個別の指導計画作成に関するアンケート(課題だと考えていること)

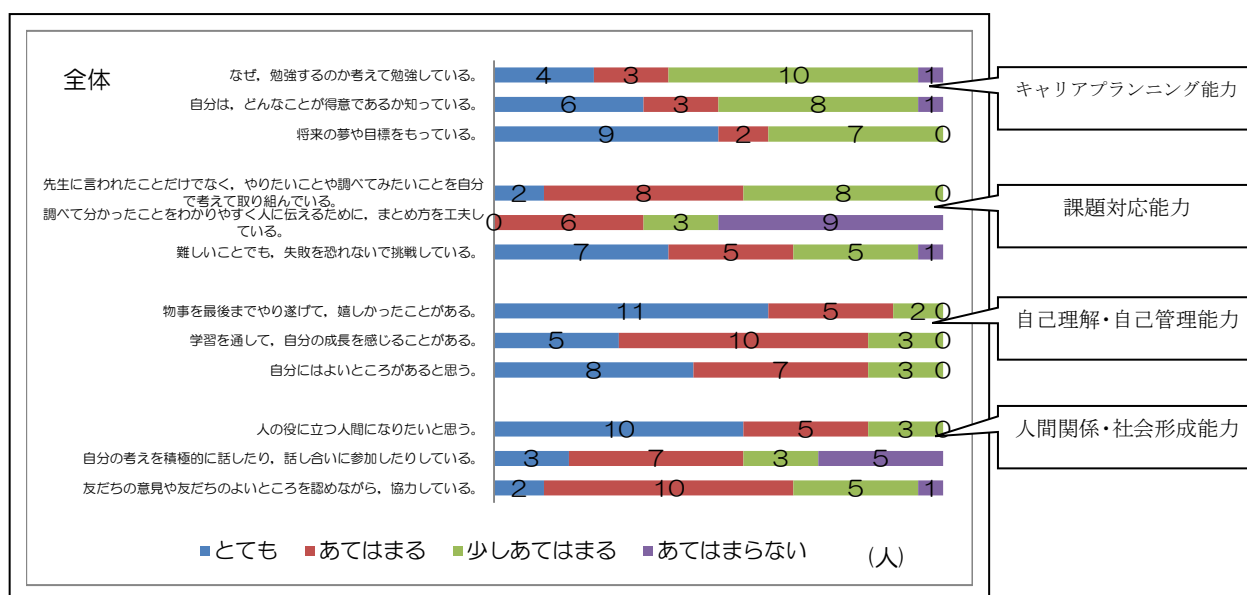


図2 基礎的・汎用的能力に関するアンケート

平成25年度より研究開発学校の指定を受け、「特別支援学級における社会的・職業的自立を目指した、生活力を育成するためのカリキュラムの研究開発」に取り組んでいる。具体的には、ライフキャリアの観点から、「しごと」、「くらし」、「かてい」の内容を扱う新教科「キャリアマネジメント」を教育課程に位置づけ、生涯にわたって自らの生活をマネジメントしていける生活力の育成を目指し、指導を開始した。「くらし」では、将来における自己の社会生活を考え、自己選択・自己決定しながら生活していくことや、様々な情報の活用、集団の中で他者と協力・協働して社会に参画することに意欲をもたせることをねらいとし、進路に関するもの、地域との関わりに関するものなど、将来の社会生活に関する内容を扱うこととした。

これらの実態を鑑み、社会の一員としての自覚を促し、将来を考え、社会参加への意欲を高める学習活動として、6月にキャリアウィークⅠ(6月12日～17日)を実施した。1年生は本校環境職員との「校内実習」、2年生は身近な通学路での「ボランティア活動」、3年生は、広島大学東広島キャンパス内での「職場体験学習」を行うとともに、期間中の休日には卒業生・保護者が一堂に会した進路を語る会を実施した。一連の学習活動を通して、「もっとやってみたい」「役に立ちたい」「話が参考になった」といった感想を持つなど、社会参加に向けた意欲の高まりがみられた。一方で、学習したことをまとめたり、伝えたり、考えたことを発表したりするような場面では、自信を持って行う姿はあまり見られず、何をするのか戸惑う様子が見て取れた。

これらの実態を踏まえ、活動を計画したり、自分たちが学習した事を他者に伝えたりする学習として、本単元『説明会をしよう』を設定した。説明するためには、学習活動への深い理解が必要となる事や、一方的でない伝え方の工夫が求められる。また、役割分担をすることで、集団の中で他者と協力しながら取り組もうとする態度や責任など、将来の社会生活に向けて必要な生活力を育成することができると考える。さらに、責任を持って行うことで、自信を高めることにもつながると考えた。

指導にあたっては、いくつかの学習活動の中から、説明に適した活動として1年生は「安全マップ作り」、2年生は「プレ職場体験学習」、3年生は「ボランティア活動」を選択した。その学習活動を実施するための計画を立て実行し、活動内容や考えたことなどをまとめ説明する一連の学習課題に取り組んだ。生徒が相互に協力しながら課題解決していけるように、学年の実態に応じて、学習を一緒に進める、方法を例示する、ある程度任せするなど、介入の量を増減した。学習を進めるにあたっては、説明会の意義や生活との関連に着目しながら説明方法等を例示し、学習活動全体に見通しを持ち、意欲が持てるようにすることに特に留意した。活動を行う中で、説明するために必要となる気づきや、つぶやきを集めたり、画像等について考えたりしながら取り組ませ、授業が進むにつれて活動への意欲が見られるようになっていった。

説明を構築する過程では、説明したい部分を選択したり、自分の役割や作業分担、説明部分等を細分化したりすることで、生徒一人ひとりの活動量を増やすようにしていくとともに、役割や責任を明らか

にすることで、お互いの関わり合いの中で積極的な学習活動を促すことに留意する。説明する内容は、生徒の経験や思いを大切に、ワークシートや画像等でその学習活動を振り返りながら、伝えたいことを明確にしていけるようにする。イメージをより具体的にするために、これまでに経験した様々な方法（模造紙、プレゼンテーション、実演など）を例示しながら、自分たちの説明に適した方法となるよう工夫できるようにする。さらに、事前にリハーサルを行い、説明方法や説明者の態度など、いくつかの観点をもって説明を聞くようにし、相互に評価しながら気づいたことを共有できるようにする。

本時「説明会」では、学年ごとに計画にそって実施した活動内容を、第三者にむけて説明し、質問に応答するという学習活動を行う。説明会は3つのグループに分かれ、ポスターセッション形式で行う。参観者の協力を得ながら、複数回の説明が行えるよう工夫する。複数回行うことにより、多様な質問に応じる回数が増すとともに、説明や応答の方法がよりスムーズになることを期待する。また、役割の遂行が確実にできたかを把握することが可能になると考えている。

説明会では、生徒たちが役割分担と協力により主体的に運営できるようにする。そのために、生徒自らが行動を起こせるよう促し、求めに応じて必要な支援を行うことに留意する。生徒一人ひとりの気付きや思いを大切に、自らの言葉で堂々と説明したり応答したりできるよう、任せる場面を作り、達成感を持たせたい。

説明会後の振り返りでは、課題に取り組む態度や姿勢、自己の活動を適切に評価できるよう、日々の生活にもつなげて考えさせ、将来の生活を考えていく意欲の高まりを期待している。

指導目標

- (1) 自分の役割と責任を意識し、担当する役割を遂行することができる。
- (2) 計画に沿った見通しのある活動ができる。
- (3) 考えたことを説明したり、質問に応答したりすることができる。

指導計画（全8時間）

- 第1次 説明会の実施について（計画・準備）（3時間）
- 第2次 学年別の活動と説明会準備（3時間）
- 第3次 説明会（1時間）（本時）
- 第4次 説明会を終えて（1時間）

準備物 評価表、掲示物、指示棒、PC（グループにより異なる）

座席表

教卓					
N	M	K	G	A	D
P	O	J	I	B	E
☐ R	☐ Q	H	☐ L	C	☐ F

* ☐ 文字は女子

評価の観点（網掛けは本時の重点）

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人間関係成・ 社会形成能力	協力して説明会を行うことに意欲を持つ。 ア、目的を持って活動する。 イ、協力して活動する。 ウ、仲間に活動を働きかける。	他者の意見を取捨選択できる。 ア、自分の意見を持つ。 イ、他者の意見に共感する。 ウ、意見の相違を判断する。	他者や自分の意見から説明にふさわしい意見を選択することができる。 ア、意見を述べる。 イ、反論する。 ウ、適切な意見を選択する。	自らの意見を伝えるよりよい方法を理解することができる。 ア、伝え方がわかる。 イ、様々な伝え方をあげる。 ウ、よりよい方法がわかる。
自己理解・ 自己管理能力	学習したことを伝えることに意欲的を持つ。 ア、伝えたいことがある。 イ、伝え方に関心を持つ。 ウ、繰り返し伝える。	よりよく伝わる方法を工夫することができる。 ア、意見を修正する。 イ、修正する方法を示す。 ウ、自他の比較をする。	学習したことを伝えることができる。 ア、必要な内容を伝える。 イ、メモを見ながら伝える。 ウ、相手を見て伝える。	活動によって学習したことを理解できている。 ア、資料を見て想起する。 イ、活動の目当てがわかる。 ウ、学習したことを話す。
課題対応能力	自分の役割を意欲的に遂行することができる。 ア、自分の役割がわかる。 イ、役割に沿って活動する。 ウ、見通しを持っている。	質問された内容に適切に応答する。 ア、答える内容を考える。 イ、質問の意図を判断する。 ウ、想定外の質問に応じる。	自らの役割遂行のために行うべきことを判断し行動することができる。 ア、今行うことを考える。 イ、すべきことを判断する。 ウ、課題順に配列する。	学習活動の内容を理解し、課題に応じた活動ができる。 ア、活動内容を理解する。 イ、活動に必要な準備がわかる。 ウ、目的に応じた活動ができる。
キャリアプラン ニング能力	今後の活動のための改善点を考えることに意欲をもつ。 ア、改善点に気付く。 イ、改善点の有無を考える。 ウ、アドバイスする。	質問される内容を考える。 ア、質問をあらかじめ予測する。 イ、答え方を複数考える。 ウ、答え方を判断する。	今後の活動に生かせる意見を発信することができる。 ア、自分の感想を伝える。 イ、自分の意見を伝える。 ウ、改善点を伝える。	学習の目的や内容を理解し、他の学習に生かそうとすることができる。 ア、生活の中で生かす。 イ、学習内容と関連付ける。 ウ、関連する内容を見つける。

- 本時の目標**
- ・説明する時は、学習した内容を適切に説明することができる。
 - ・質問を受けた時は、質問の意図に応じた内容で応答することができる。

本時に関わる、生徒の実態と個別の目標、支援(例)

生徒	学年	本単元に関わる実態	個別の目標と 評価の観点	目標達成のための支援
C	1	発語が不明瞭なため、考えや思いはあるが自分の意見を言葉で表現することに苦手意識があり、相手を直視できないことがある。メモや原稿を事前に作成すれば安心して伝えることができるようになっている。	相手を見て、自信を持って説明する。 ◆技能/自己理解・自己管理能力 …ウ	原稿を活用し安心させる。
E	1	質問されたことに即座に回答しようとする。予想外の質問は、いったん間をとることで、適切な応答ができるようになっている。	質問内容をよく聞き、応答すべき内容を考えてから解答する。 ◆思考・判断・表現/課題対応能力 …ウ	質問内容を復唱する場面を作る。
H	2	初めての活動に抵抗感があり取り組みなくなることがある。事前に活動内容を知らせることで、安心して活動に取り組む事ができるようになっている。	自分の担当箇所を最後まで説明する。 ◆技能/自己理解・自己管理能力 …ア	事前に準備した説明カードを持たせる。
□	2	自分の考えや思いをうまくまとめられず、伝えることをあきらめてしまうことがある。質問の意図がはっきり把握できると、自信を持って応じることができる。	自信を持って質問に答える。 ◆思考・判断・表現/課題対応能力 …イ	応答前に資料を使って答える内容を判断させる。
P	3	学習内容を振り返ることが苦手で、思い出すことをすぐにあきらめてしまうが、ヒントがあれば思い出すことができ、自分の言葉で表現できるようになっている。	答える内容を考え、自分の言葉で表現する。 ◆思考・判断・表現/課題対応能力 …ア	きっかけを提示する。
□	3	見通しが持ちにくく、発語が不明瞭なため、集団活動に自分から関わるのが少ないが、自分がやりたい役割に立候補し、役割を果たそうとする姿が見られるようになっている。	学習したことを確実に伝える。 ◆技能/自己理解・自己管理能力 …イ	発語を補うジェスチャーやカード等を使って伝える。

※ □文字は女子

学習の展開

7	学習活動（○）と支援（●）			指導上の留意点（◆評価）
導 入	本時の学習について			□運営で生徒ができる部 分は任せる。
	○あいさつをする ○本時の活動内容を確認する。 ○説明担当者は各会場に移動しスタンバイする。 ○総合司会者は各会場の説明内容を説明する。 ○誘導係が各会場へ案内する。			
展 開	説明会をする			□説明しやすい雰囲気をつくる。 □支援を行う場合は、生徒主体的な活動を損なわないようにする。 ◆学習したことを伝えることができる。（技能/自己理解・自己管理能力） □質問には、生徒自らの言葉で答えさせるようにする。 □求めに応じて必要な支援を行う。 ◆質問された内容に適切に応答する。（思考・判断・表現/課題対応能力） □時間に留意し、説明会の運営をスムーズにする。
	1 年生	2 年生	3 年生	
	○活動内容の説明。 ・調査の目的 ・活動の内容 ・わかったこと ●聞き手に向かって説明するよう促す。……C ●原稿を使わせる。 ●滞るようであれば活動を促す言葉がけを行う。 ●ストップウォッチでタイムキープを促す。 ○質問に応答する。 ●質問内容を復唱し、考える時間をつくる。……E ●質問内容に応じ、きっかけになる言葉を提示する。 *3 回繰り返す。	○活動内容の説明。 ・活動の目的 ・活動の内容 ・まとめ ●聞き手に向かって説明するよう促す。 ●説明用の写真と原稿を使わせる。……H ●説明の内容を事前に確認させる。 ○質問に応答する。 ●質問の内容を理解しやすい言葉にして伝える考えさせる。……I ●応答しやすいように、ヒントになる言葉を提示する。 *3 回繰り返す。	○活動内容の説明。 ・活動の目的 ・活動の内容 ・まとめ ●聞き手に向かって説明するよう促す。 ●メモを持たせる。 ●カード等を用いるようにする。……Q ○質問に応答する。 ●質問内容に応じて、担当者が答えるよう促す。 ●応答に困るようなら、きっかけになる言葉を提示する。……P *3 回繰り返す。	
ま と め	本時の振り返り			□生徒の感想の良いところをとらえ、肯定的な評価になるようにする。
	○評価表に記入する。 ●選択肢を例示する。 ○説明会を振り返って感想を発表する。 ○説明会参加者から感想を聞く。 ○あいさつ			